

■ 指導事項

〈B 書くこと〉

ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。

〈C 読むこと〉

ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

※以下の問題は、「C読むこと」として、論理的修辭の一つである「逆説」をキーワードに文章の要点を把握し、「B書くこと」に発展させていくことを目的として作成しています。

■ 次の文章【A】【B】を読み、後の問に答えなさい。

【A】

ミロのビーナスを眺めながら、彼女がこんなにも魅惑的であるためには、両腕を失っていなければならなかったのだと、僕は、ふと不思議な思いにとらわれたことがある。つまり、そこには、美術作品の運命という、制作者のあずかり知らぬ何物かも、微妙な協力をしているように思われてならなかったのである。

パロス産の大理石でできている彼女は、十九世紀の初めごろ、メロス島でその農民により、思いがけなく発掘され、フランス人に買い取られて、パリのルーブル美術館に運ばれたと言われている。そのとき彼女は、その両腕を、故郷であるギリシアの海か陸のどこか、いわば生臭い秘密の場所にうまく忘れてきたのであった。いや、もっと的確に言うならば、彼女はその両腕を、自分の美しさのために、無意識的に隠してきたのであった。よりよく国境を渡っていくために、そしてまた、よりよく時代を超えていくために。このことは、僕に、特殊から普遍への巧まざる跳躍であるようにも思われるし、また、部分的な具象の放棄による、ある全体性への偶然の肉薄であるようにも思われる。

僕はここで、逆説を弄しようとしているのではない。これは僕の実感なのだ。ミロのビーナスは、言うまでもなく、高雅と豊満の驚くべき合致を示しているところの、いわば美というものの一つの典型であり、その顔にしろ、その胸から腹にかけてのうねりにしろ、あるいはその背中 of 広がりにして、どこを見つめていても、ほとんど飽きさせることのない均整の魔が、そこにはたたえられている。しかも、それらに比較して、ふと気づくならば、失われた両腕は、ある捉えがたい神秘的な雰囲気、いわば生命の多様な可能性の夢を、深々とたたえているのである。つまり、そこでは、大理石でできた二本の美しい腕が失われた代わりに、存在すべき無数の美しい腕への暗示という、不思議に心象的な表現が、思いがけなくもたらされたのである。それは、たしかに、半ばは偶然の生み出したものであるが、なんとという微妙な全体性への羽ばたきであることだろうか。その雰囲気、一度でも引きずり込まれたことがある人間は、そこに具体的な二本の腕が復活することを、ひそかに恐れるにちがいない。たとえ、それがどんなに見事な二本の腕であるとしても。

(清岡卓行「手の変幻」)

問一、傍線部にある「逆説」とはどのようなことか。本文に即して具体的に説明しなさい。

【解答例】両腕の欠落したビーナスは一見欠陥品のように見えるが、実は両腕が失われたことによって魅惑的になったということ。

問二、次の文の中で、「逆説的表現」と言えるのはどれか。あてはまるものをすべて選びなさい。

ア その人が挫折を乗り越えるという体験があつて、はじめて未来を語る言葉に彩りは増します。(玄田有史「希望のつくり方」)

イ 余白は決して余白でなく、画かないことによつて実は画いている空間である。(唐木順三「おそれという感情」)

ウ 見えない人が多数派なら、見えている人は嘘つきということになってしまう。(黒川伊保子「日本語はなぜ美しいのか」)

エ 実験的法則科学はいつも成立しなければならぬが、「必ず勝てる」軍事学はない。(中井久夫「医学は科学か」)

オ 何も起きていない現実が、世界中で起きているのである。(岸 政彦「断片的なもの社会学」)

カ 日本の伝統的な社会は生者と死者によつてできていますが、欧米の社会は生きている人間の社会です。

(内山節「内山節のローカリズム原論」)

【解答】イ・オ

【B】

花は盛りに、月はくまなきをのみ見るものは。雨に向かひて月を恋ひ、垂れこめて春の行方知らぬも、なほあはれに情け深し。咲きぬべきほどの梢、散りしをれたる庭などこそ見どころ多けれ。歌の詞書にも、「花見にまかれりけるに、はやく散り過ぎにければ」とも、「障ることありてまからで」なども書けるは、「花を見て」と言へるに劣れることかは。花の散り、月のかたぶくを慕ふ習ひはさることなれど、ことにかたくななる人ぞ、「この枝かの枝散りにけり。今は見どころなし。」などは言ふめる。

（「徒然草」第百十七段）

〈現代語訳〉

（桜の）花は盛りに咲いているのだけを、月はかげりもなく照りわたっているのだけを見るものであろうか。（そうではない。）雨に対して（降らなければ見えるはずの）月を恋しがり、すだれを垂れて室内にとじこもって、春が暮れてゆくのも知らないでいるのも、やはりしみじみと情趣が深い。ほどなく咲きそうな梢、（花が）散ってしおれている庭などこそ、賞美すべき点が多いことである。歌の前書きの詞にも、「花見に参りましたところ、すでに散ってしまったので」とも、「さしつかえがあつて（花見に）参りませんで（家の中にとどまつて）」などと書いてあるのは、「花を見て」と言っているのに比べて（その風情が）劣っていることであるうか。（決して劣つてはいない。）花が散り、月がかたむくのを（惜しんで）慕う（世間一般の）習慣はもつともなことであるけれど、特に無風流な人が、「この枝もあの枝も（みんな）散ってしまった。もう今は賞美すべき点はない。」などとと言うようである。

問三、【B】の文章を【A】の文章と読み比べ、その論理の展開の仕方における共通点を説明しなさい。

【解答例】 一見価値が低いように見えるものに価値を見いだしている。（世間の常識に反論している。）

問四、資料Ⅰ・Ⅱを読み、次の問に答えなさい。

- (一) 宮崎県民の幸福感について成り立つ逆説とはどのようなことか、説明しなさい。
- (二) 宮崎県民の幸福感の理由はどのようなことだと考えられるか。〈資料Ⅰ〉およびこれまでの自分の体験等を踏まえ、具体的に書きなさい。

〈資料Ⅰ〉全国から見た宮崎県（宮崎県ホームページより 2019. 8. 27更新）

項目	数値	単位	対全国比	全国順位
総面積	7,735	平方キロメートル	2.05%	14位
総人口	1,089	千人	0.86%	36位
人口密度	141	人/平方キロメートル	(全国 335)	39位
合計特殊出生率	1.73		(全国 1.43)	2位
県内総生産	36,840	億円	0.68%	
県民所得/一人	2,407	千円	78.0%	
消費者物価指数	96.4		(全国 100)	45位
農業算出額	3,524	億円	3.76%	5位
乾しいたけ生産量	417	トン	16.39%	2位
近海かつお漁獲量	17,605	トン	61.71%	1位
製造品出荷額等	16,917	億円	0.5%	42位
商店数（飲食店除く）	14,093	店	1.00%	35位

〈資料Ⅱ〉 都道府県幸福度ランキング 2019

※ブランド総合研究所がインターネットによるアンケートで実施したもの。「あなたは幸せですか」という問に対して、「とても幸せ」(100点) 「少し幸せ」(75点) 「どちらでもない」(50点) 「あまり幸せではない」(25点) 「全く幸せではない」(0点) の五段階から一つを選んでもいい、全回答の平均を「幸福度」としている。

順位	都道府県名	点数
1	宮崎県	72.4
2	熊本県	71.0
3	福井県	70.6
4	徳島県	70.4
4	沖縄県	70.4
6	石川県	69.4
7	愛知県	69.2
7	鹿児島県	69.2
9	滋賀県	69.0
10	三重県	68.8
11	京都府	68.7
12	山梨県	68.6
12	長野県	68.6
14	岐阜県	68.3
15	大分県	68.0
16	香川県	67.6
16	愛媛県	67.6
18	和歌山県	67.5
19	佐賀県	67.2
20	岡山県	67.0
20	高知県	67.0
20	兵庫県	67.0
23	千葉県	66.9

【解答例】

(一) 「資料Ⅰ」における県民所得や消費者物価指数の数値から考えると、宮崎県は決して豊かであるとは言えず、県民の「幸福度」も低いのではないかと思われるが、「資料Ⅱ」にあるように、実際の宮崎県民の幸福度は他県よりも高いということ。

(二) 「資料Ⅰ」より、宮崎県は人口密度が低く、合計特殊出生率が高いことが分かる。また、農業算出額も多い。これらのことから、暮らしやすさや子育てのしやすさ、食べ物が豊かであることが県民の高い幸福感につながっているのではないかと考える。

(以下は、「実際自分の経験に照らし合わせてみると、そのことが裏付けられる。…」等、自分の経験に基づいて書く。また、適宜字数設定をする。)